



特集

だれもが どれも 選べる社会へ ～市内の学校で制服の選択制がスタート～

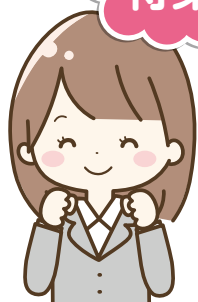
- 特集 だれもが どれも 選べる社会へ
～市内の学校で制服の選択制がスタート～ …… P2～P5
- 男女共同参画週間啓発事業 …… P6

- 事業紹介 …… P6～P7
女性活躍推進企業の紹介
男女共同参画に関する公民館講座
人権セミナーのお知らせ
転入女性交流のつどいのお知らせ
- いわきのさんかくさん …… P8

特集

だれもが どれも
選べる社会へ

#ジェンダー #学校 #ランドセル



Q

最近「ジェンダー」って言葉を聞くけど「性別」と何が違うの？

A

「性別」は身体的特徴を指していて、「ジェンダー」は社会的に作られる性差のことを言います。例えば「女性は家事が得意」とか「男性は強くなくてはいけない」というジェンダーに基づく決めつけがあり、多くの人の心をしばっていて、問題になっています。

Q

昔は授業が男女で分けられていたってホント？

A

以前は家庭科の授業は女子で技術は男子に分けられていた時がありました。当時は女性は家庭に、男性は仕事にという意識が強く、それが学校教育まで影響していました。

1990年頃から男女共通の科目になりました。



Q

昔はランドセルの色は女子は赤で男子は黒だって聞いたけどホント？

A

40年くらい前はランドセルの色は女子が赤で男子が黒でした。本来、色に性別との関係はないのですが、管理のしやすさなどから男女で色分けすることが多くありました。今のランドセルの色は青、茶色、紫、水色などさまざまです。自分の好きな色を選ぶようになりました。

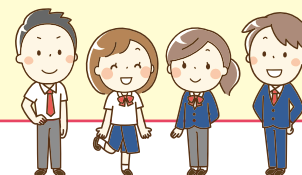


Q

最近制服の選択ができる学校が増えてきたけど、どうして？

A

身体と性自認が一致しないトランスジェンダーの生徒への配慮に加え、暑さや寒さ対策、動きやすさの確保などさまざまな理由があります。スカートかスラックスをその日によって着ることもできます。

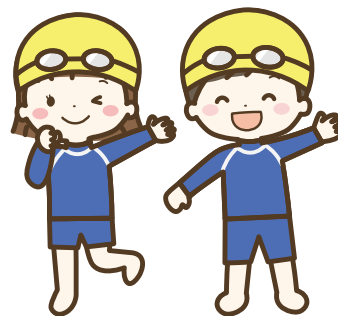


学校生活の変化について

制服やランドセル以外のものも変化してきています。

例えば昔の女子用体操服などは、ブルマやワンピース型の水着など、体のラインが目立つものでした。また、男子の水着は上半身が裸になるのがあたりまえでした。今は人権教育の一環として、ラッシュガードを着用できるなど、水着や体操服も体のラインが出ないものになってきています。授業についても、ジェンダーに関することや性の多様性についてのことが増えてきました。

「女性らしさ」「男性らしさ」ととらわれない、一人ひとりが自分らしく社会生活を送るための取り組みが増えてきています。



市内の学校で 制服の選択制がスタート

今年度導入した磐崎中学校を取材しました

昨年度、導入を検討された新井前校長先生
(現勿来第一中学校長) にお話を伺いました。

Q 選択制を導入することになったきっかけは？

A 男女で決められた制服に違和感を感じる小学生の存在を知ったことがきっかけです。生徒、教職員が「人権」を意識して、誰一人とりこぼすことなく、生活しやすい学校を作る必要性を感じ導入を決めました。

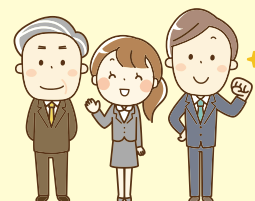


Q 選択制導入のために取り組んだことは？

A 教職員で「性の多様性」についての研修と選択制導入に関する議論を重ねました。また、生徒や保護者が正しい知識を身につけるよう、「性の多様性」に関する授業や講演会を開きました。さらに地域住民の理解を得られるよう、小学校や公民館で新制服の展示をしたため、大きな混乱なく導入まで至りました。

Q 新制服の選考委員はどんなメンバーでしたか？

A 選考委員として教職員全員28名・生徒会本部7名・PTA執行部・小学校PTA会長2名を選出しました。



Q 生徒や保護者からはどんな要望が？

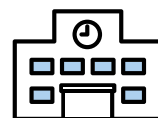
A 導入に関しての反対意見はゼロでした。
生徒からは
「軽いのがいい」
「シワになりにくい」
「かわいいのがいい」という意見が、
保護者からは
「ウォッシュブル・速乾性が良い」
「ウール混よりも通気性を重視したい」
「汚れが目立たない」「価格をおさえる」という意見がありました。

Q 新制服を見た反応は？

A 保護者からは
「娘はスカートをはきたがらないので、以前は中学校入学を悩んでいたが、スラックスを選べて安心したようだ」
「いわき市の最初の取組みがいい」
公民館長によると見本を見た
地域住民などからは
「孫の制服を見てみたかった」
「最近の制服はかわいいねえ」
などの反応がありました。



新制服をみていこう！



#選択制 #ジェンダーレス #通学用カバン

ブレザースタイルで8パターンから選べる



制服はきちんと着てこそ かっこいい！

●磐崎中学校制服着こなし5ヶ条

- ①ブレザーのボタンはきちんと留めます。
- ②ネクタイ・リボンを着用する時は、シャツの第一ボタンを必ず留めます。
- ③シャツ・ブラウスの裾は、スラックス・スカートの中に入れます。
- ④スカート丈はひざ下とし、短すぎるのものは禁止です。
- ⑤スラックスのウエストはベルトでしっかり締めます。



編集委員の感想

一昔前の制服の着方は校則で決まっていた、定期的に先生にチェックされ、守らないといけないイメージでしたが、こういった着方だとかっこいいという表現は、生徒の自主性を促していると思いました。

ジェンダーレスの新制服

●選べる制服①

ブレザーの「左前」か「右前」か
洋服の前合わせは、基本的には男性は右前（左身頃が上）女性も左前（右身頃が上）です。性別にとらわれず利き手など自分の着やすい方を選びます。

●選べる制服②

「スカート」か「スラックス」か
スカートかスラックスかを生徒自身が選択できます。
冬にスカートは寒いからスラックスを、夏は暑いからスカートを選ぶなど機能性で選べます。

●選べる制服③

「リボン」か「ネクタイ」か
リボンかネクタイかを生徒自身が選択できます。

通学用カバンもリニューアル

多機能、安全性を考慮したカバンです。
価格は以前の物より安価になっています。



新入生に感想を聞くと

「いっぱい入っていい」
「ランドセルより軽くて背負いやすい」
「ポケットが多くて機能的で使いやすい」

1年生の皆さんに聞きました。



Q 新制服の感想は？

A 「スカートをはくのが苦手だったのでスラックスを選べると聞いて安心しました」
 「今時で高校生みたい」
 「自分たちの学年から新しくなったのはうれしいです」
 「動きやすいのでスラックスを選びました」
 「女子だからスカートとか気にしないで、いろんなのが着られていいなと思いました」

坪井校長先生（現磐崎中学校長）
にお話を伺いました。

Q 新制服導入について学校側としてどう捉えていますか？

A 制服がこうあるべき等の表現はその生徒の一部に過ぎないと思っています。生徒一人一人の将来の夢や希望が叶えられるために寄り添った指導をしていきたいと思っています。ジェンダー問題に限らず、全ての生徒の人権が尊重されるように、学びを進めていくことがこれからの教育だと思います。

遠野中学校でも導入

今年度の新入生から、ブレザーにスラックスかスカートかを選択できる制服を導入しました。

植田中学校も導入予定

令和7年4月から選択制の制服を導入する予定です。

編集委員感想
～取材を振り返って～

服装は性別で分けられがちです。「かわいい」制服、「かわいい」制服など、着こなしてリボンとネクタイを、機能性でスカートとスラックスを選べるのは良いと思いました。

勿来第一中学校の校長室には多くのLGBTQ 関連書籍が並べられていて、定期的に新しい書籍を購入して、自分の知識をアップデートされているとのこと。また、校長室や保健室の前にレインボーフラッグが掲げられていました。「ジェンダー平等」や「性的少数者」に配慮した学校を運営されていることがうかがえました。



サトシン（作） 西村敏雄（絵） 文溪堂（発行）

「男子生徒にもスカート一度はいて欲しいです。夏は涼しいのに！」
 「そうだね！ だけど男子生徒がスカートをはくと周りの目が気になるのかも…」
 「これからは本人たちが着たい服で生活できる社会になっていくといいね」

制服の選択制のことを知り合いに話したら、思わずガッツポーズをするくらい喜んでいました。
 「制服の選択制を導入する学校が増えていけば、さらに生きやすい社会になるのに！」と話していました。



男女共同参画週間啓発事業

毎年6月23日から6月29日までは「男女共同参画週間」です。

市では広く市民の皆様の男女共同参画についての意識醸成を図ることを目的に、事業を実施しました。



1.書籍展示

●日時：令和6年6月2日(日)～30日(日)

開館時間内

●場所：いわき総合図書館

5階テーマ展示コーナー



2.街頭啓発

●日時：令和6年6月24日(月) 10:30～11:00

●場所：マルトSC平尼子店

「いわき男女共生連絡協議会」の皆さんと市職員との合同で、啓発資材の配布を行いました。



3.レシートを活用した啓発

男女共同参画週間の期間中、スーパーマルトの御協力により、レシートによる啓発を行いました。



女性活躍推進企業の紹介

令和5年度は女性活躍推進企業9社を新たに認証しました

いわき市では、女性の登用・育成及びワーク・ライフ・バランスの推進等、男女がともに働きやすい職場環境の整備を図るなどの取組みを行う企業について「いわき市女性活躍推進企業」として認証しています。

新規の認証企業(認証番号順・敬称略)

- 株式会社吉多美工業(泉滝尻二丁目)
- 株式会社福田組(平泉崎字向原)
- 株式会社加地和組(平字小太郎町)
- 常磐開発株式会社(常磐湯本町辰ノ口)
- ひまわり信用金庫(平字二丁目)
- 株式会社リビングソーラー(鹿島町下矢田字沢目)
- トラスティ保険有限会社(内郷御台境町御台)
- 丸長建設工業株式会社(鹿島町米田字殿作)
- 有限会社あすか(内郷綴町川原田)

これまでの認証企業については市公式ホームページをご覧ください。



男女共同参画に関する公民館講座

多様な世代が身近に利用し、生涯学習の拠点である公民館では、さまざまな講座を開催しています。四倉公民館や神谷公民館では当センターの職員を講師に、男女共同参画社会やLGBTについての講座を開催しました。

四倉市民講座

- 日時
令和6年7月24日(水)
11:30～11:50
- 場所
四倉公民館



神谷公民館市民講座

- 日時
令和6年8月6日(火)
10:00～11:30
- 場所
神谷公民館



人権セミナーのお知らせ



だれもが働きやすい職場づくり ～LGBTQ/SOGIEから考える～

- 講師 / 市民団体 さんかく 代表
三戸 花菜子氏

- 日時 / 令和6年12月20日(金) 14:00～16:00

- 場所 / 文化センター 3階 大会議室

- 対象: 市内の企業関係者 ※一般の方も参加可能です。
- 申込期限: 12月11日(水)
- 申込・問合せ: いわき市男女共同・多文化共生センター
電話.0246-41-9201 FAX.0246-41-9202
E-mail: danjo-kc@city.iwaki.lg.jp

参加費
無料



転入女性交流のつどいのお知らせ | 【12月交流会】

いわき市に転入して間もない女性に対し、いわきの良さを知ってもらうとともに、交流の場を提供することを目的に12月に「転入女性交流のつどい」を開催します。詳しくは市公式ホームページをご覧ください。

- 日時: 令和6年12月4日(水)
10:15～12:00(受付10:00～)
- 会場: ラトブ6階 いわき産業創造館 企画展示ホール
- 募集人数: 20名(※無料保育サービスを設けます。)
- 対象者: いわき市に転入して概ね3年以内の女性
(年齢不問、本市出身者を除く)
- 申込先: いわき転入女性の会
＜電子メールアドレス＞ncwc_tudoi@yahoo.co.jp
- 記入事項: 件名「つどい参加希望」と次の①～⑧を明記
①郵便番号・住所②氏名(フリガナ)③年齢④電話番号⑤12月希望⑥転入前の住所(都道府県市区町村まで)⑦出身地(都道府県名)
⑧お子様同伴の方は、お子様の氏名(フリガナ)と生年月日・性別
- 申込期限: 令和6年11月27日(水)
※応募者多数の場合、初めて参加される方を優先。
- 問い合わせ先: いわき転入女性の会事務局
(事務担当: 関内 電話: 090-7337-5683)



参加費
500円
(資料・茶菓子代)



▲昨年の交流会の様子

いわきの さんかくさん



～いわきの“さんかくさん”とは？～
いわきで男女共同参画を推進する活動をしている人。



多様性を認め合う
いわき市を目指す会

割谷 洋恵さん
(わりや ひろえ)

Q&A

Q 昨年度どのような活動をしましたか？

A 昨年度に高校生3名で「多様性を認め合ういわき市を目指す会」を結成し、いわき市に同性カップルを公的に認めるパートナーシップ制度や学校での制服選択制の導入を求めて署名活動を行いました。7月のキックオフイベントから10月までの3ヶ月で5,228筆の署名が集まり、市に提出することができました。

Q 活動のきっかけは？

A 私がジェンダーに関して学ぶ中で、LGBTQ という言葉を詳しく知り、生きづらさを抱えていたりするなど、困難な状況下に置かれている人が、少なからずいるということに危機感を抱きました。何かしらのアクションを取りたいと考えていたところ、知り合いの紹介で LGBTQ支援団体の座談会に参加しました。そこでパートナーシップ制度等を導入するために、署名活動をしたいという旨を伝えたところ、応援してくれる方が多く行動へ移すことができました。

Q 活動をしていて良かったこと、大変だったこと。

A 人々の優しさに触れることができたということです。完全にボランティアなわけですから、誰も手伝ってくれる人はいないだろうと考えていました。ですが仲間たちに声をかけたところ、快く「やってみよう！」と答えてくれました。大変だったことは、メディアに出た際には散々ネット上で叩かれたことです。心無い言葉をかけられ、最初はメンタルがやられていましたが、学校などでこのことを話すと、「結局それって一部の人間しか言ってないから、気にする必要全くなし！」というように友人が言ってくれました。それがきっかけで自分が正しいと思ったことをブレずに挑戦すると心に決め、活動できました。重ねて協力してくださった皆様、本当にありがとうございました。

Q 今春からいわきを離れてみて地元の印象などに変化はありましたか。

A 東京に比べていわきは性的マイノリティが生活しにくい環境に自然となってしまうと感じました。東京には『東京レインボープライド』という大きなイベントや常設の総合LGBTQセンターがあります。これらのイベントや施設があることによって自然と性的マイノリティへの理解が広まり、生活しやすい環境になっていると感じました。いわきでも、このような取り組みがあると、理解が深まると思います。

私のおすすめの一冊

はじめて学ぶLGBT基礎からトレンドまで

石田仁 著・ナツメ社 出版

大学の先生や活動に関わったことがある方々から薦められてた一冊です。



いわきの さんかくさん 募集

自薦・他薦は問いません。
※詳しくはセンターまで

wing

いわき市男女共同参画情報紙ーウィングー
vol.61 2024年10月 発行

編集長：加藤 藤子

編集委員：影井 和也 小林美智子
鈴木かおり 緑川 琴江

発行：いわき市 市民協働部 男女共同・多文化共生センター
〒970-8026 いわき市平字堂根町1番地の4
Tel.0246-41-9201 fax.0246-41-9202
E-mail: danjo-kc@city.iwaki.lg.jp

いわき市女性活躍推進ポータルサイト

詳しくはこちら▶



あなたもwingに
参加してみませんか？
ご意見・ご感想を
ぜひお寄せください。
次回：11月発行です。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。